

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970101604		
法人名	メデイカル ケア サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム甲府後屋		
所在地	山梨県甲府市後屋町97-1		
自己評価作成日	平成23年9月3日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成24年2月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

甲府市内の新興住宅街の中にある愛の家グループホームは、窓際からすぐ隣にグラウンドを見渡せる大國小学校があります。学習の一環にて毎年、小学生との交流会や大國地区自治会主催による納涼会などに参加させて頂いております。
『愛の家』は認知症の高齢者がスタッフと共に少人数による家庭的な雰囲気の中で、自由に趣味や家事を通じ、自立した日常生活を楽しむという場所です。
ご利用者様が安心して生活し、自己の能力を最大限発揮しながらご利用者の意思決定を尊重し、生活を営むものであることとしています。山梨県内の5ホームで連携をとることができます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者と共に過ごす家庭的な雰囲気があり、個人の尊厳を損なわない声かけを工夫しており、認知症の人へのケアが職員全員に徹底されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

事業所名 愛の家グループホーム甲府後屋

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念は勿論、ホームとしては「全てはご入居者様の為に」その人らしく安楽な生活を生涯送っていただきたいと考えている	法人の理念は勿論、ホームとしては「全てはご入居者様の為に」その人らしく安楽な生活を生涯送っていただきたいと考えている	個々の思いや状況に合わせた利用者本位のケアは、朝礼やユニット会議で話し合いをしている。利用者の変化を気づきケアの中で話している。理念や方針などは見易いところに掲示し共有されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年ホームの隣にある大国小学校との交流会や地区納涼会に毎年参加している。	毎年ホームの隣にある大国小学校との交流会や地区納涼会に毎年参加している。	地域の小学生・高校生のボランティアと交流が図られている。近所の認知症サポーターの定期的な訪問がある。自治会には加入していないが、オーナーを通じ自治会の活動に参加している。	地域に認知症ケアに関する知識を普及すると共に、災害時に地域の協力えて安心安全な避難ができる相互交流を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	専門職として、地区の民生委員さんを通じて相談を気軽にしてもらうよう周知している。機会が出来るように地域の方々との接点を作るよう努力したい	専門職として、地区の民生委員さんを通じて相談を気軽にしてもらうよう周知している。機会が出来るように地域の方々との接点を作るよう努力したい		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催時には、ホームの活動内容の報告をし、参加者様からの助言や地区の情報などを伺っている。運営推進会議を通じ認知症サポーター養成講座の開催。	開催時には、ホームの活動内容の報告をし、参加者様からの助言や地区の情報などを伺っている。運営推進会議を通じ認知症サポーター養成講座の開催。	平日開催のため家族の参加は少ないが、家族の意見等は反映するようにしている。食事会やお花見などの提案があり、会議不参加の家族も行事に参加するなど協力関係を築いている。会議で提案された認知症サポーター養成講座に職員も参加した。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者の変更があったが、気軽に相談をする環境である	担当者の変更があったが、気軽に相談をする環境である	他市町村からの利用希望者について、市の介護保険課の担当者が気軽に相談に応じてくれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所として身体拘束廃止要綱を掲示しております。全体会議や合同研修などを通じて周知しております。外へ出られない環境は身体拘束に当たる事はスタッフも理解しています。かぎを掛けず日中自由に入出入り出来る環境作りを実施しています。	事業所として身体拘束廃止要綱を掲示しております。全体会議や合同研修などを通じて周知しております。外へ出られない環境は身体拘束に当たる事はスタッフも理解しています。かぎを掛けず日中自由に入出入り出来る環境作りを実施しています。	外に出ようとする利用者には、職員が気がつき、一緒に外出するようにしている。自由研究で声掛けの工夫を検討し、もし自分が当事者であったらと考え、制止する言葉でなく、利用者の尊厳に合わせた言葉に代える工夫が日常的にされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	資料や実際にあったニュースなどを本社からの通達にて閲覧したり全体会議や合同研修などを通じて周知に努めています	資料や実際にあったニュースなどを本社からの通達にて閲覧したり全体会議や合同研修などを通じて周知に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を作れていない	学ぶ機会を作れていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約書、重要事項説明書の説明をし分からない事や疑問点に関しては回答し、双方同意のもとにご利用いただいております	入居時、契約書、重要事項説明書の説明をし分からない事や疑問点に関しては回答し、双方同意のもとにご利用いただいております		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時に重要事項説明書にてご家族に伝えていますが、又一年に1回法人本部よりご家族に直接アンケートを送付実施し、結果を本部にて管理者に伝え、改善等の進捗を法人本部へ管理者が報告するシステムになっています。その際アンケート結果集約したものを掲示しております	入居時に重要事項説明書にてご家族に伝えていますが、又一年に1回法人本部よりご家族に直接アンケートを送付実施し、結果を本部にて管理者に伝え、改善等の進捗を法人本部へ管理者が報告するシステムになっています。その際アンケート結果集約したものを掲示しております	法人が実施する家族アンケートは公表し、要望にも対応している。本人の要望は、日頃ケアの中で伺い、カンファレンスやケア会議に反映している。職員が気づいた利用者意見は、引継ぎノートに記録している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は朝礼・全体会議・ユニット会議に参加し、スタッフの意見を聞く機会をつくり、意見を反映させている。	管理者は朝礼・全体会議・ユニット会議に参加し、スタッフの意見を聞く機会をつくり、意見を反映させている。	全体会議、ユニット会議で、職員の意見が多く取り入れられ、行事の企画提案やさまざまな改善がされている。日常的に相談などし易い職場環境が実現されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人別人事評価制度があり、評価が給与に反映され、同時に今後の改善点等が個々のスタッフに周知されるシステムを取入れています	個人別人事評価制度があり、評価が給与に反映され、同時に今後の改善点等が個々のスタッフに周知されるシステムを取入れています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県内5ホーム合同の研修会や地域の研修などがあれば、スタッフに回覧し参加できるように努めております	県内5ホーム合同の研修会や地域の研修などがあれば、スタッフに回覧し参加できるように努めております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地区グループホームとの交流は少しいちありますが、職員を一日他ホームに見学やお手伝いなどの機会を作ろうと検討中です。地域包括センター主催にて地区の交流会・事例報告などもあります。	同地区グループホームとの交流は少しいちありますが、職員を一日他ホームに見学やお手伝いなどの機会を作ろうと検討中です。地域包括センター主催にて地区の交流会・事例報告などもあります。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望や気持ちを正確につかむようにしています。又、出来る限りホームを実際に見学していただき納得のうえ入居していただいております	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望や気持ちを正確につかむようにしています。又、出来る限りホームを実際に見学していただき納得のうえ入居していただいております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談を頂いた際には、必ずホームを見学していただきグループホームの果す役割や援助の内容を説明すると共にご家族の苦労や要望を伺い十分納得いただいて後にご入居頂く様にしております	相談を頂いた際には、必ずホームを見学していただきグループホームの果す役割や援助の内容を説明すると共にご家族の苦労や要望を伺い十分納得いただいて後にご入居頂く様にしております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受ける際は、関係者からも情報を集めたうえで、相談者とじっくり話し合い必要に応じて他のサービス事業者の紹介などをし、適切なサービスが受けられるように配慮しています	相談を受ける際は、関係者からも情報を集めたうえで、相談者とじっくり話し合い必要に応じて他のサービス事業者の紹介などをし、適切なサービスが受けられるように配慮しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	管理者はグループホームは介護施設ではなく、認知症高齢者とスタッフの共同生活ですとご家族やスタッフには伝えております。お互いに苦手な部分を補いながら生活しています。	管理者はグループホームは介護施設ではなく、認知症高齢者とスタッフの共同生活ですとご家族やスタッフには伝えております。お互いに苦手な部分を補いながら生活しています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間行事でのお花見や運動会などにはご家族の皆様にも参加いただきご本人とともども楽しんでいただいております。また、日々の細かい事も電話や面会時等で一緒に考えて頂く様にしております	年間行事でのお花見や運動会などにはご家族の皆様にも参加いただきご本人とともども楽しんでいただいております。また、日々の細かい事も電話や面会時等で一緒に考えて頂く様にしております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の際は、行きたい場所に行ったり、会いたい人に会ったりしていただいています	外出の際は、行きたい場所に行ったり、会いたい人に会ったりしていただいています	家族と教会に出掛けたり、以前いたケアハウスの友人や近所の人の訪問がある。近所の馴染みの美容院に出かけることもある。近所・親戚の人の面会は、トラブルとなることがあるので、家族等に確認を取って面会できるように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	普段の生活の中で散歩、調理、掃除など入居者様・スタッフが状況に応じて役割を分担し生活しています。その中で、出来る事出来ない事それぞれありますが、お互いに補いながら生活できています	普段の生活の中で散歩、調理、掃除など入居者様・スタッフが状況に応じて役割を分担し生活しています。その中で、出来る事出来ない事それぞれありますが、お互いに補いながら生活できています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談を受ける際にもですが、退去をしなければならぬ状況になっても「何かありましたら、遠慮なく相談してください」と努めている	相談を受ける際にもですが、退去をしなければならぬ状況になっても「何かありましたら、遠慮なく相談してください」と努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望や気持ちを正確につかむようにしてご本人さんが良ければと思い日々努めています	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望や気持ちを正確につかむようにしてご本人さんが良ければと思い日々努めています	軽度な利用者が多く、本人の希望、要望・思いに沿った支援を行なっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活情報を記入していただき把握すると共に入居後は情報をきっかけにさせて頂き確認をするように努めています。又、可能な場合は本人様が以前住まわれていたご自宅を訪問させていただき環境の把握に努めています	入居時に生活情報を記入していただき把握すると共に入居後は情報をきっかけにさせて頂き確認をするように努めています。又、可能な場合は本人様が以前住まわれていたご自宅を訪問させていただき環境の把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の出来る事出来ない事を正確に把握し、出来る事に着目し、残存能力の維持向上に努めております	ご本人の出来る事出来ない事を正確に把握し、出来る事に着目し、残存能力の維持向上に努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議などでの意見交換などを通じてご本人さんが安楽に生活出来るように必要があれば、ご家族や必要な関係者との話し合いなどに努めている	ユニット会議などでの意見交換などを通じてご本人さんが安楽に生活出来るように必要があれば、ご家族や必要な関係者との話し合いなどに努めている	入居前にユニット主任、管理者か本人・家族と面談し、暫定プランを作成し、入居1～2ヶ月後に見直しプランを作成し、プランに基づきケアを行い、実施記録に残し、ユニット会議では、本人と家族の意見を事前伺い、モニタリングしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプラン実施記録を通常の介護記録のほかに記録している。ケアプラン実施記録は日々のケアの反省も出来ると同時に課題に対して○×△形式の為、見やすく、モニタリング意識ができています	ケアプラン実施記録を通常の介護記録のほかに記録している。ケアプラン実施記録は日々のケアの反省も出来ると同時に課題に対して○×△形式の為、見やすく、モニタリング意識ができています		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	できる限り、ご本人の要望に速やか、且つ柔軟に対応できるよう努めています。ご家族の中には状況的に受診介助が出来る状態では無い為、状況に応じてはホームにて対応させていただいております	できる限り、ご本人の要望に速やか、且つ柔軟に対応できるよう努めています。ご家族の中には状況的に受診介助が出来る状態では無い為、状況に応じてはホームにて対応させていただいております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員をはじめ、自治会の皆様にご協力いただき、夏の盆踊りや地区の運動会への参加をさせていただくと同時に近隣の小中学校の福祉事業・職場体験を受け入れて交流を図っております	民生委員をはじめ、自治会の皆様にご協力いただき、夏の盆踊りや地区の運動会への参加をさせていただくと同時に近隣の小中学校の福祉事業・職場体験を受け入れて交流を図っております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医に入居後も継続されて診ていただくか、往診医や近隣の専門医に診ていただくかは、ご家族の生活状況を含めて、適宜選択していただいております。決定後はかかりつけ医と連携を取り、適切な医療を受けられるように支援しております。又、受診状況等は速やかにご家族に報告しております	入居前からのかかりつけ医に入居後も継続されて診ていただくか、往診医や近隣の専門医に診ていただくかは、ご家族の生活状況を含めて、適宜選択していただいております。決定後はかかりつけ医と連携を取り、適切な医療を受けられるように支援しております。又、受診状況等は速やかにご家族に報告しております	通院は、利用者の状況を医療機関に伝え、医師の指示を伺うよう職員が対応している。受診状況は、受診記録簿に記入し職員間の共有し家族に連絡している。医師の往診を受けている利用者もいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日に訪問看護師に訪問していただき、健康管理の相談や、アドバイスをいただいております。又、24時間訪問看護師と連絡がつくシステムになっており、必要に応じてアドバイスを頂いております	毎週火曜日に訪問看護師に訪問していただき、健康管理の相談や、アドバイスをいただいております。又、24時間訪問看護師と連絡がつくシステムになっており、必要に応じてアドバイスを頂いております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、必ず管理者またはそれに準ずるものが付き添い、病院側からの情報提供が速やかにいただける様お願いしています。又、入院中はできるだけ見舞い、その都度看護師等から情報提供をしています	入院時は、必ず管理者またはそれに準ずるものが付き添い、病院側からの情報提供が速やかにいただける様お願いしています。又、入院中はできるだけ見舞い、その都度看護師等から情報提供をしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、重度化した場合における医療体制指針の文書を公表し、もしもの場合にどうしていくのかをいくつかの選択技を例にしながら説明しています。又、入居後も体調の変化に応じて繰り返し話す機会を設けております。	入居時に、重度化した場合における医療体制指針の文書を公表し、もしもの場合にどうしていくのかをいくつかの選択技を例にしながら説明しています。又、入居後も体調の変化に応じて繰り返し話す機会を設けております。	終末期への対応は、本人・家族・医療・職員の理解・協力が得られなければ難しい。過去に看取りしたこともある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを各ユニットに設置し有事に備えていますが、応急処置などの説明は参考資料を使い全体会議などを通して周知している。近日に救急救命講習を計画している	緊急時マニュアルを各ユニットに設置し有事に備えていますが、応急処置などの説明は参考資料を使い全体会議などを通して周知している。近日に救急救命講習を計画している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や消火訓練を定期的実施している	避難訓練や消火訓練を定期的実施している	避難訓練で通報・誘導・消火訓練を年に二回実施し、通報では夜間を想定した連絡網訓練をした。防災の日に地域の訓練に職員が参加した。備蓄してある食品の賞味期限過ぎたものの試食をしている。	ご近所との防災に対する協力体制を築くことで、災害時安心・安全な避難が出来る仕組みづくりを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報保護法に基づき管理しています。声かけや対応はさりげなく行うように指導しています。居室はあくまでも入居者様の個人空間である事を理解し、入る際にはご本人に許可を得るように努めております	個人情報保護法に基づき管理しています。声かけや対応はさりげなく行うように指導しています。居室はあくまでも入居者様の個人空間である事を理解し、入る際にはご本人に許可を得るように努めております	トイレへの誘導や入浴時の羞恥心を配慮した言葉かけに配慮している。とくに自分が言われたらどうかということを考え実践している。馴れ馴れしくなり過ぎないような配慮もしている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様に決定して頂くように努めています。決してスタッフ側の自己満足による押し付けにならないように選択技を個々に合わせて提示し出来るだけ本人の意思で生活していただいています。ご希望を優先に考え実現出来るように努力しています	ご本人様に決定して頂くように努めています。決してスタッフ側の自己満足による押し付けにならないように選択技を個々に合わせて提示し、出来るだけ本人の意思で生活していただいています。ご希望を優先に考え実現出来るように努力しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本になる生活の流れは一応あるが、そこにとらわれず臨機応変な対応を心がけています。何もしない事を怖がらず本人さんが過ごしたいようにと心がけております	基本になる生活の流れは一応あるが、そこにとらわれず臨機応変な対応を心がけています。何もしない事を怖がらず本人さんが過ごしたいようにと心がけております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容業者に訪問していただいたり、訪問理美以外での店へ行けるようにしています。	訪問美容業者に訪問していただいたり、訪問理美以外での店へ行けるようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食の準備から片付けまで一緒に行うことにより、好みや楽しみなどを共感しています。普段と目先を変えて外食の機会をつくったり、外部より購入しての提供もしている	毎食の準備から片付けまで一緒に行うことにより、好みや楽しみなどを共感しています。普段と目先を変えて外食の機会をつくったり、外部より購入しての提供もしている	週一回、利用者と共に昼食の副食作りをしている。行事食はホットケーキなどを共に作っている。週一回の食材の買物にも出かけている。見た目においしそうな盛り付け工夫をしている。外食は月一回実施し、出前寿司をとることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量を毎食記録し、総合的な栄養摂取を把握し状態に応じた支援を実施しております。また、自由にお茶やコーヒーなども飲んでいただけるようになっています。状態によっては主治医に相談し高カロリーのものを取り入れるように努めております	摂取量を毎食記録し、総合的な栄養摂取を把握し状態に応じた支援を実施しております。また、自由にお茶やコーヒーなども飲んでいただけるようになっています。状態によっては主治医に相談し高カロリーのものを取り入れるように努めております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの促しをし実施していただいております。(毎週2回 月・木にポリデント実施)	毎食後に口腔ケアの促しをし実施していただいております。(毎週2回 月・木にポリデント実施)		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を個々に行い失敗のないように努めております。万が一失敗があっても自尊心を傷つける事が無いように努めています	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を個々に行い失敗のないように努めております。万が一失敗があっても自尊心を傷つける事が無いように努めています	利用者のほとんどが自立しており、布パンツを着用している。排泄チェック表を参考に自立状態を継続できるようトイレ誘導に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響をおおむね理解しており、食量・水分量・服薬・運動などを把握して便秘にならないように工夫対応しています	便秘の原因や及ぼす影響をおおむね理解しており、食量・水分量・服薬・運動などを把握して便秘にならないように工夫対応しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日お風呂をたてて、希望者は毎日でも入浴出来る様努めております。(体調も考慮のうえで)入浴を希望されない方にも無理強いせず本人の意志に任せ入浴をしていただけるよう努めると共に苦痛のならないような環境整備を心がけております	毎日お風呂をたてて、希望者は毎日でも入浴出来る様努めております。(体調も考慮のうえで)入浴を希望されない方にも無理強いせず本人の意志に任せ入浴をしていただけるよう努めると共に苦痛のならないような環境整備を心がけております	毎日入浴する利用者もいる。入浴拒否がある利用者には、言葉巧みに工夫し、週二回は入浴してもらるようにしている。毎日の入浴は楽しくコミュニケーションの図れる場で、利用者の皮膚の状況の把握も出来ている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日の生活の中で個人のペースで過ごせる時間を大事にして、常に安心して生活でき、不安感を持たないよう環境作りに努めております	毎日の生活の中で個人のペースで過ごせる時間を大事にして、常に安心して生活でき、不安感を持たないよう環境作りに努めております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	管理者は勿論ユニットリーダーは個々の服薬目的や副作用を理解しています。各フロアーに個々の情報ファイルを置きスタッフにも共有・理解出来る様に努めています。(ピルブックも設置)	管理者は勿論ユニットリーダーは個々の服薬目的や副作用を理解しています。各フロアーに個々の情報ファイルを置きスタッフにも共有・理解出来る様に努めています。(ピルブックも設置)		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で、個々の状態に応じた役割もっていただいている、生活の一部になっています。又、必ずありがとうございますの言葉を忘れずに少しでも達成感を感じていただけるように努めています	生活の中で、個々の状態に応じた役割もっていただいている、生活の一部になっています。又、必ずありがとうございますの言葉を忘れずに少しでも達成感を感じていただけるように努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や外気欲など戸外に出る機会を作っています。後は日常的に必要な物の買い物もスタッフと一緒に実施しています。スタッフの見守りのうえで金銭の授受をご本人様に行っていたくよう努めております	散歩や外気欲など戸外に出る機会を作っています。後は日常的に必要な物の買い物もスタッフと一緒に実施しています。スタッフの見守りのうえで金銭の授受をご本人様に行っていたくよう努めております	買い物ノートに日頃の必要品を記入し、買い物に出掛けている。近所の小学校周囲の散歩は週1・2度出掛けている。お盆やお彼岸時には、家族と外出している。家族とともにパチンコも楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、金銭管理はホーム側で行っていますが、中にはご家族の了承を得て、個人で小額の管理をしている方もおります。買い物の際は商品を選んでいただき支払いまで見守りし実施しています	基本的には、金銭管理はホーム側で行っていますが、中にはご家族の了承を得て、個人で小額の管理をしている方もおります。買い物の際は商品を選んでいただき支払いまで見守りし実施しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	各フロアーに設置の電話を使用できます。希望があれば電話連絡を取っています。手紙も同様に自由にやり取り出来る様にしております	各フロアーに設置の電話を使用できます。希望があれば電話連絡を取っています。手紙も同様に自由にやり取り出来る様にしております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは常に清潔にし、カレンダーや写真など季節感のある雰囲気作りをしています。スタッフは入居者様に対して配慮し、大声や騒音を出さないように心がけております	共有スペースは常に清潔にし、カレンダーや写真など季節感のある雰囲気作りをしています。スタッフは入居者様に対して配慮し、大声や騒音を出さないように心がけております	くつろげるソファには、横になって昼寝を楽しみ、利用者が書いた作品がさりげなく掲示されたり、居室入り口の個性ある暖簾が下がって家庭的な雰囲気作りがなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外にはベンチを設置し、ご入居様同士がゆったり過ごせる空間があります。フロアーにはソファを二脚置き自由に使用してテレビやビデオ鑑賞が出来る様になっています	外にはベンチを設置し、ご入居様同士がゆったり過ごせる空間があります。フロアーにはソファを二脚置き自由に使用してテレビやビデオ鑑賞が出来る様になっています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、備え付けの家具ではなく、今まで使い慣れたものや思い出深いものを持ち込んでいただいております	居室には、備え付けの家具ではなく、今まで使い慣れたものや思い出深いものを持ち込んでいただいております	大型冷蔵庫や本を収納する本棚などを持ち込み、自宅と同じ様に過ごせる居室の工夫を行なっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室・階段には手すりが設置されており、入居者様の身体機能を活かせるようになっています	廊下・トイレ・浴室・階段には手すりが設置されており、入居者様の身体機能を活かせるようになっています		